

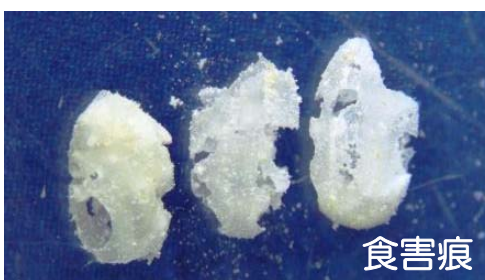
平成24年度病虫害発生予報第9号(12月予報)

＜お知らせ＞防鳥ネット設置によるレタスのシロガシラ被害対策についてのコラムがあります(12ページ参照)。

今月のトピックス

コクゾウムシ (貯蔵米)

学名 : *Sitophilus zeamais*



生態と被害

コクゾウムシは、米、麦、トウモロコシなど、イネ科穀物の害虫である。日本各地および世界各地に広く生息するが、特に温帯地域に多く分布する。

成虫は紡錘型で、細長い口吻を持つ。体色は黒褐色で、鞘翅に2対の橙色の斑紋を有する。幼虫は蛆状で足は退化しており、体色は白色で頭部は淡褐色である。

成虫および幼虫が穀物を加害する。成虫は、口吻で穀粒に穴をあけ、中に1卵ずつ産卵する。孵化した幼虫は、穀粒内部を食害しながら成長し、穀粒の中で蛹化する。羽化した成虫は数日穀粒に留まり、脱出口をあけて這い出す。成虫は外側から穀粒を食害する。被害を受けた穀物は空洞化し壊れやすくなる。

本邦では、特に貯蔵米の重要害虫である。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojjo/index.html>

平成24年11月29日
沖縄県病虫害防除技術センター